

震災と教育

—放射能問題を視野に入れて—



福島県川内村立川内小学校の「除染の様子」

東北地方太平洋沖地震による各地の被害状況は、メディアを通して、伝えられてきました。しかし、地震が発生したとき、学校では何が起きていたのか、地震後、どのような教育問題が生じ、その問題にどのように対応してきているのかについては、ほとんど伝えられていません。私たちは、これからの教育を考えていくためにも、「真の姿」を知っておく必要があります。

今回の教育フォーラムでは、2人の講師をお招きします。一人目の講師として、福島第一原子力発電所から30km圏にある福島県川内村立川内小学校の高島仁校長をお招きいたします。震災に関わる「真の姿」、震災後に生じた教育問題について、お話をさせていただきます。二人目の講師として、福島第一原子力発電所から100km圏にある茨城大学工学部で原子力工学をご専門とする田代優先生をお招きいたします。放射能に関する正しい知識・対応等について、お話をさせていただきます。

日時：平成24年2月11日(土) 午後1時～4時

場所：山梨大学教育人間科学部 J号館5F A会議室

講師：福島県川内村立川内小学校長 高島仁氏

茨城大学工学部マテリアル工学科講師 田代優氏

主催：山梨大学教育人間科学部

後援：山梨県教育委員会、甲府市教育委員会

※教員、保護者、学生など、教育に関心のある方でしたらどなたでも参加できます。入場無料です。